

平成 24 年度版

中学校英語科用

NEW HORIZON English Course

Book3

指導計画作成資料

○この資料の内容は、平成 23 年 9 月時点での案となっております。今後、変更がある可能性がありますので、ご了承ください。

(平成 23 年 9 月)

東京書籍

「指導計画作成資料」について

この資料は、平成 24 年度版 NEW HORIZON を使って指導する際の、年間指導計画作成のための参考資料です。学年ごとに、表形式にまとめられています。

Book 1	15 ページ	Book 2	15 ページ	Book 3	14 ページ
--------	--------	--------	--------	--------	--------

表は、以下の項目からなっています。

月	指導する月の目安を示します。						
単元	単元の通し名（例：Unit 1, Speaking Plus 3 など）を示します。						
ページ	その単元の、教科書上のページを示します。						
タイトル／題材・内容	その単元のタイトルのほか、以下を示します。 題材・内容 単元で扱う題材・内容の概略を示します。 設定理由 Unit 及び Let's Read について、その題材を扱うことにした理由を示します。						
時数[単元／パート]	その単元の指導時数の目安を示します。Unit については、パートごとの時数も示しています。 [指導時数について] 指導時数の学年ごとの合計は、以下のようになっています。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>Book 1</td> <td>82</td> <td>Book 2</td> <td>91</td> <td>Book 3</td> <td>87</td> </tr> </table> このように、週 4 時間（年間 140 時間）の 60～70%の時数で余裕をもって扱うことができるようになっています。残りの時数の指導内容は、各学校や先生方の指導計画に任せられます。教科書の指導内容の補充や深化のための時間を、その指導計画に組み入れる場合は、後述「指導時間に関する備考」の、 補充 深化 の表記を 1 つの目安にしてください。この表記のある単元は、プラス 1 時間するなどの指導がしやすい内容になっています。	Book 1	82	Book 2	91	Book 3	87
Book 1	82	Book 2	91	Book 3	87		
パート名	Unit のパート名を示します。						
到達目標	その単元／パートにおいて、言語技能及び題材内容について、生徒が何をできるようになることを目指しているか、という最重要の到達目標を示します。						
学習内容	その単元／パートで扱う主な学習内容を、文法事項と言語活動の両面から示します。 ◇文法事項・基本表現 Unit の各パートの新出文法事項と、Speaking Plus の新出基本表現を示します。また、直前に学習した文法事項が本文中で復習的に現れる場合などは、 復習 として示します。						

◇主な言語活動

取り扱う主な言語活動を、以下の 4 つの点から示します。

中心技能	4 技能（聞く、話す、読む、書く）のうち、重点を置くもの
使用場面	本文の使用場面
話題、テーマ	特に中心となっている話題、読み物教材のテーマ
働き	特に中心となっている言語の働き
工夫	コミュニケーションに役立つ工夫やコツ

指導の典型的手順

その単元／パートを指導する場合の最も典型的で基本的な手順例を示します。実際の指導手順がこれと必ずしも一致する必要はありません。（なお、「新出語句の導入」については、「本文の内容理解」の前後に扱われるのが通例と思われるので、記載を省略しています。）

◇[観点別評価分類]

上記手順上の各項目が、評価の観点のうち、どれにあてはまるかを示します。授業中の活動の観察や提出物の評価、定期テストなどにおいて、特定の項目を焦点化することにより、観点別評価が可能です。

[意欲]	コミュニケーションへの関心・意欲・態度
[表現]	外国語表現の能力
[理解]	外国語理解の能力
[言語文化]	言語や文化についての知識・理解

指導時数や時間配分上のバリエーション、指導内容に関する留意事項を示します。

補充 基礎・基本の定着を図るための繰り返し学習や、言語を実際に使用する活動、題材への興味・関心を喚起する活動にさらに 1 時間あてるなど、指導の重点化を図ることができる単元／パートを示唆しています。
深化 既習の知識・技能を活用し、自分の考え、感想、気持ち、賛否の理由などについて英語で書いたり、発表したりする活動にさらに 1 時間あてるなど、言語活動の充実を図ることができる単元／パートを示唆しています。

指導に関する備考

継続 毎時冒頭に数人ずつ発表させるなど、継続的な取り組みに適した内容を含む単元／パートを示しています。[主として Warm-up, Unit, Multi Plus, 学び方コーナー]
言語 基本文以外の指導に留意すべき表現（マイナーターゲット）や重要事項の取り扱いなどについて記述しています。

その他、時間配分上の注意点や指導上の留意点などの項目は*で適宜示しています。また、Sound Box, Tool Box などのコラムや囲みの取り扱いに関する内容もここに含み、これらについては学年最初の該当パートで示します。

指導計画作成資料 (Book3)

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート				主な言語活動		
4	Warm-up	pp. 2-3	<p>A Speech and a Game 題材・内容 Show and Tell と Jigsaw Reading を取り上げる。前者は2年の継続である。 設定理由 2年と同様日々の授業の“warm-up”としても活用できる活動を、学年の冒頭に取り上げている。ただ、Show and Tellについては、学習段階を考え、2年に比べより高度な内容を扱うこととした。</p>	2	Show and Tell	<p>○ワシントンD.C.の桜について、その由来、歴史などを知る。 ○本文を参考にして、事物や人物について紹介するスピーチを書き、言うことができる。</p>	<p>中心技能 4技能すべて 使用場面 スピーチ 話題、テーマ ワシントンD.C.の桜 働き 発表する、説明する、描写する</p>	<p>①本文（スピーチ）の内容理解 [理解] ワシントン D.C.の桜の由来についての理解 [言語文化] ②本文の音読 [表現] ③Your Turn [表現] ●特に③への取り組み [意欲]</p>	<p>*Jigsaw Reading の指導時間配分を短くし、Show and Tellのスピーチ原稿の作成指導にあてるなど、生徒の実態に応じて2時間の指導時間を柔軟に扱ってもよい。 *Warm-up は、スピーチやゲームによる「ウォームアップ効果」をねらうとともに、2年の既習事項の復習も兼ねることを念頭に置いて指導したい。例えば、Show and Tellの本文中で扱う the most famous に焦点をあて、形容詞・副詞の変化について「応用編」p.119「形容詞・副詞比較変化表」も活用しながら復習させ、以後の学習でも、形容詞・副詞の変化について留意させるように指導する、などである。</p>		
						<p>○イラストを参考に英文を読んで、寓話に親しむ。 ○物語の展開や各文の因果関係を考えながら読んで、文を正しい順序に並べかえることができる。 ○物語の内容について、疑問詞を使って問答できる。</p>	<p>中心技能 4技能すべて 使用場面 物語 話題、テーマ イソップ寓話 働き 説明する、描写する、質問する、答える</p>	<p>①本文の内容理解と整序 [理解] ②本文の音読 [表現] ③Your Turn [理解・表現] ●特に③への取り組み [意欲]</p>	<p>*Jigsaw Reading の本文で扱う位置や動きを示す「前置詞」について理解を深めさせるために、「応用編」pp.116-117「いろいろな前置詞」も活用できる。前置詞については、本文などで扱われているものをその都度説明することも必要だが、指導計画の中で焦点化を図り、「いろいろな前置詞」も活用しながら、視覚的・感覚的な概念として生徒に理解させたい。 継続 Your Turn については、毎回の冒頭で数人ずつ発表させる方法も可能である。発表者以外の生徒には事前に聞き取りのポイントを与えておくとよい。</p>		

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート			主な言語活動		
4	Unit 1	pp. 4-8	Sign Language 題材・内容 手話を取り上げる。聴覚障がい者の手話によるミュージカル(Starting Out, Dialog), 日米の手話の違いと手話の表現方法, 手話教室への参加体験(Reading for Communication), といった話題を扱う。 設定理由 「人権・福祉・共生」の観点からの題材設定である。生徒が手話に関心を持ち, 共生社会のあり方について考えること, また, ボランティア活動など, 福祉活動に主体的に参加することが期待される(ボランティア活動についてはListening Plus 1の題材として関連づけている)。また, 「受け身」の導入と練習という点からも好適な題材である。	5	1	Starting Out	<p>受け身(平叙文)</p> <p>中心技能 4技能すべて</p> <p>使用場面 コマーシャル 手話ミュージカル 宣伝・告知する, 説明する</p> <p>話題, テーマ</p> <p>働き</p>	<p>受け身(平叙文)</p> <p>①本文(テレビCM)の内容理解 [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読 [表現] 本文の暗唱 ④Listen [理解] ⑤Speak [表現]</p>	<p>継続 不規則変化による過去分詞が初出。以降Unit 1~3「受け身」「現在完了」に関連して過去分詞が扱われ, 「まとめと練習①」で焦点化される。さらに, Unit5では後置修飾に関連し, 現在分詞・過去分詞が扱われる。動詞の不規則変化は, 「応用編」pp. 120-121の「不規則動詞変化表」も活用しながら計画的に指導することが重要である。</p>	
					1	Dialog	<p>受け身(疑問文と応答)</p> <p>中心技能 4技能すべて</p> <p>使用場面 友人との対話 手話ミュージカル, 手話教室 質問する, 答える 提案する, 紹介する</p> <p>話題, テーマ</p> <p>働き</p>	<p>受け身(疑問文と応答)</p> <p>①本文(対話)の内容理解 [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読・ロールプレイ [表現] 本文の暗唱 ④Your Turn [表現] ⑤特に④への取り組み [意欲]</p>	<p>補充 受け身の肯定文, 疑問文の形・意味に習熟させるために, 過去分詞の導入や語形変化の練習, 代入練習, 適語補充, 受け身を使った自己表現などに1単位時間をあててもよい。 補充 Your Turnの例を参考にし, 聞くこと・話すことに重点化した活動にさらに1単位時間あて, 既習事項の定着を図ることも可能である。</p>	
					1	Reading for Communication	<p>復習 受け身</p> <p>中心技能 4技能すべて</p> <p>使用場面 手話教室のテキスト 手話のしくみ 説明する 図や絵を使う</p> <p>話題, テーマ</p> <p>働き 工夫</p>	<p>①本文(テキスト)の内容理解(Q&A) [理解] 手話の表現方法, しくみについての理解 [言語文化] ②本文の音読 [表現]</p>	<p>*Q&Aは, 次時の冒頭, 本文の復習の中で扱ってもよい。その場合は閉本で行うなど, 生徒の実態に応じた指導を行う。 深化 日米の手話表現について他の例を生徒に調べさせ, 本文の例を参考に発表させることに1単位時間をあててもよい。 言語 can be expressedのような「助動詞+受け身」の形についても慣れさせる。</p>	
					1	Reading for Communication	<p>中心技能 4技能すべて</p> <p>使用場面 教室で 最近の体験 発表する, 報告する</p> <p>話題, テーマ</p> <p>働き</p>	<p>SVOC (C=形容詞)</p> <p>①本文(体験談)の内容理解(Q&A) [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読 [表現]</p>	<p>言語 be able toの表現に慣れさせるとともに既習の助動詞についてもふれる。</p>	

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート			主な言語活動			
4	Unit 1	pp. 4-8			1	Review	<p>○動詞を受け身の形に変えて、対話を完成することができる。(A)</p> <p>○日本語の解説を参考に、適切な語句を用い点字についての文を完成し、発表することができる。(B)</p>	<p>① 中心技能 読む、書く、話す</p> <p>使用場面 対話 話題、テーマ 国立競技場 働き 質問する、答える、説明する</p> <p>② 中心技能 読む、書く、話す</p> <p>使用場面 点字についての本 話題、テーマ 点字 働き 説明する</p>	<p>① 適語補充 [言語文化]</p> <p>② ロールプレイ [表現]</p> <p>③ 適語補充 [理解・言語文化]</p> <p>④ 完成した文の音読・発表 [表現]</p> <p>⑤ 特に②への取り組み [意欲]</p>	<p>補充 Unitの題材に関連し、「言語」を扱った Languages in Danger (「応用編」p.132)を活用し、「読む」ことの指導の重点化を図ることも可能である。</p>	
	Listening Plus 1	p. 9	<p>ボランティア活動 題材・内容 ボランティア活動についての説明を聞き取る。</p>	1		<p>○説明を聞いて、曜日、時刻や場所など大切な情報を聞き取ることができる。</p>	<p>復習 受け身</p> <p>中心技能 聞く、書く</p> <p>使用場面 国際交流センターで 話題、テーマ ボランティア活動 働き 説明する、案内する</p>	<p>① 説明の聞き取り (Step 1) [理解]</p> <p>② 対話の要点の聞き取り (Step 2) [理解]</p> <p>③ 対話の内容に関する質問への応答 (Step 3) [理解]</p> <p>④ Sound Box による発音練習 [言語文化]</p> <p>⑤ 特に③への取り組み [意欲]</p>	<p>継続 Sound Box は、次時以降も同様の例が出てきたときにふり返るなど、継続的な指導を心がけたい。</p>		
5	Multi Plus 1	pp. 10-13	<p>文化紹介 題材・内容 身近な日本の風物を取り上げる。4技能すべてを使う総合的自己表現活動。Challengeでは、さらに世界の風物の例として民族服を取り上げる。</p>	4		<p>○日本や外国の風物に目を向けることを通して、文化や伝統に理解と関心を持つ。</p> <p>○モデル文を参考にして、日本文化について紹介する原稿を5文以上の英語で書くことができる。</p> <p>○書いた原稿をもとに、日本文化を紹介するスピーチをすることができる。</p> <p>○友達のスピーチを聞き、その内容について質問することができる。</p> <p>○アロハシャツに関する文を読み、内容を理解できる</p> <p>○民族服について調べて、発表することができる。</p>	<p>復習 Unit 1の総復習</p> <p>中心技能 4技能すべて</p> <p>話題、テーマ 日本・世界の風物、民族服 働き 紹介する、説明する、発表する、質問する、答える</p>	<p>① 活動目標の理解 (目標) [理解]</p> <p>② 既習事項の復習 (復習) [理解]</p> <p>③ モデルの内容理解 (Hop) [理解]</p> <p>④ 話題を選ぶ (Step の 1) [意欲]</p> <p>⑤ 日本文化紹介を書く (Step の 2) [表現]</p> <p>⑥ 日本文化紹介の発表と質疑応答 (Jump) [理解・表現]</p> <p>⑦ 本文の内容理解 (Challenge) [理解]</p> <p>⑧ 世界の民族服について調べて発表する (Challenge) [理解・表現]</p> <p>⑨ 特に⑥⑧への取り組み [意欲]</p>	<p>補充 Step の原稿作成に1指導時間をあて、全体を5指導時間扱いとし、「書くこと」の指導の重点化を図ることも可能である。</p> <p>継続 Jump は、毎時間冒頭に数人ずつ発表させる、という方法でもよい。</p> <p>継続 Challenge の Let's Try 2 については、課題として扱い、書くことや話すこと (スピーチ) の活動を継続的に行うことも可能である。</p> <p>* 巻末「応用編」p.113 Bonus Word Box①「日本の祝日・年中行事」も活用させる。</p>		
	Unit 2	pp. 14-18		5	1	Starting Out	<p>○日本の夏の風物詩である花火大会について関心を持つ。</p> <p>○現在完了形 (継続用法) の肯定文の形・意味・用法を理解し、表現できる。</p>	<p>現在完了形 (継続用法, 平叙文)</p> <p>中心技能 4技能すべて</p> <p>使用場面 テレビの中継レポート 話題、テーマ 花火大会 働き レポートする</p>	<p>① 本文 (中継レポート) の内容理解 [理解]</p> <p>② 基本文 [理解・表現]</p> <p>③ 本文の音読 本文の暗唱 [表現]</p> <p>④ Listen [理解]</p> <p>⑤ Speak [表現]</p>	<p>言語 「since+名詞」以外に「since+主語+動詞」についても慣れさせる。</p>	

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート				主な言語活動		
5	Unit 2	pp. 14-18	A Fireworks Festival 題材・内容 花火大会を取り上げる。英語番組の「日本文化紹介コーナー」。花火大会開始前のレポート(S0), ベッキーへのインタビュー(D), 花火大会会場の実況中継と花火師の話(RC)からなる。 設定理由 身近な「地域の行事」として、またMP 1に続き日本文化に対する理解と関心を持たせるために、この題材を設定した。	1	Dialog	○現在完了形(継続用法)の疑問文とその応答の形・意味・用法を理解し、それを用いて簡単な対話ができる。	現在完了形(疑問文と応答)	中心技能 4技能すべて 使用場面 インタビュー 話題, テーマ 花火大会 働き 質問する, 答える	①本文(対話)の内容理解 [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読・ロールプレイ [表現] ④Your Turn [表現] ●特に④への取り組み [意欲]	補充 現在完了形(継続用法)の肯定文, 疑問文の形・意味に習熟させるために, 受け身で導入した過去分詞の語形変化の復習, 代入練習, 適語補充などに1単位時間をあててもよい。	
							現在完了形(beenの文)	中心技能 4技能すべて 使用場面 テレビ中継 話題, テーマ 花火のかけ声 働き レポートする 説明する, 描写する	①本文(中継レポート)の内容理解 (Q&A) [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読 [表現]		
							復習 現在完了形(継続用法)	中心技能 4技能すべて 使用場面 インタビューへの応答 話題, テーマ 花火師の仕事 働き 説明する	①本文(インタビュー)の内容理解 (Q&A) [理解] ②本文の音読 [表現]		
							① 中心技能 読む, 書く 働き 説明する ② 中心技能 読む, 書く, 話す 使用場面 コンサートの案内状 話題, テーマ 吹奏楽部 働き 告知する, 招待する	①文の書きかえ [理解・言語文化] ②完成した文の音読 [表現] ③適語補充 [理解・表現] ④メッセージを書く [表現] ⑤案内状の発表 [表現] ●特に②③への取り組み [意欲]			
Listening Plus 2	p. 19	コンサート会場から 題材・内容 テレビレポーターによる、コンサート会場前からの実況中継やインタビューを聞き取る。	1		○テレビの実況中継やインタビューを聞いて、その概要・要点を聞き取ることができる。	復習 現在完了形(継続用法)	中心技能 聞く, 書く 使用場面 テレビ中継とインタビュー 話題, テーマ コンサート 働き レポートする 質問する, 答える	①実況中継の概要の聞き取り (Step 1) [理解] ②インタビューの聞き取り (Step 2) [理解] ③実況中継とインタビューの内容に関する質問への応答 (Step 3) [理解] ④Sound Boxによる聞き取り [理解] ●特に③への取り組み [意欲]			

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート				主な言語活動		
6	Writing Plus 1	pp. 20-21	手紙 題材・内容 ファンレターを取り上げる。「書く」ことに焦点を合わせた自己表現活動。	2			○自分の好きな歌手、タレント、スポーツ選手などへのファンレターを、5文以上の英語で書くことができる。	復習 現在完了形（継続用法） 中心技能 書く、読む 使用場面 手紙 話題、テーマ ファンレター 働き 自己紹介する 質問する、ほめる	① モデルの内容理解（Step 1） [理解] ② ファンレターの表現を選ぶ（Step 2） [理解] ③ ファンレターを書く（Step 3） [表現] ④ 特に ③ への取り組み [意欲]	*Step 1～2, 可能なら Step 3 の書き出しまでを 1 時間目で扱い、書いた内容の確認や推敲などを 2 時間目に扱うようにするとよい。 *Tool Box には、表現活動で用いる練習用の補充語彙・表現が提示されている。表現活動に入る前に口頭練習を行うとよい。	
			Fair Trade Chocolate 題材・内容 フェアトレードを取り上げる。フェアトレードに関するアンケート調査に始まり(S0)、テレビ番組での親子の対話(D)、フェアトレードのしくみと意義、番組を視聴したガーナ人少女、リタからの手紙(RC)へと展開する。 設定理由 アフリカの国に目を向けさせ、海外の子どもたちの日本とは大きく異なる生活について知り、考えさせたい。	1	Starting Out	○フェアトレードについて関心を持つ。 ○現在完了形（経験）の形・意味・用法を理解し、表現できる。	現在完了形（経験用法） 中心技能 4 技能すべて 使用場面 アンケート 話題、テーマ フェアトレード 働き 質問する、答える	① 本文（アンケート）の内容理解 [理解] ② 基本文 [理解・表現] ③ 本文の音読 本文の暗唱 [表現] ④ Listen [理解] ⑤ Speak [表現]			
	1	Dialog		○フェアトレードで売られている商品について知る。 ○現在完了形（完了）の形・意味・用法を理解し、それを用いて簡単な対話ができる。	現在完了形（完了用法） 中心技能 4 技能すべて 使用場面 テレビ番組での対話 話題、テーマ フェアトレード商品 働き 質問する、答える	① 本文（対話）の内容理解 [理解] ② 基本文 [理解・表現] ③ 本文の音読・ロールプレイ 本文の暗唱 [表現] ④ Your Turn [表現] ⑤ 特に ④ への取り組み [意欲]					
	1	Reading for Communication	○ガーナのチョコレート農園の現状とフェアトレードの意義について知る。 ○ティムの説明を読んで、内容を理解できる。	復習 現在完了形（経験用法） 中心技能 4 技能すべて 使用場面 テレビ番組での対話 話題、テーマ ガーナのカカオ産業と、フェアトレード 働き 紹介する、説明する	① 本文（説明）の内容理解(Q&A) [理解] ② 本文の音読 [表現]	言語 不定詞の形容詞的用法及び目的を表す副詞的用法の形・意味・用法を復習し、表現できるようにする。					
			○手紙を読んで、内容を理解できる。 ○不定詞（原因を表す副詞的用法）の形・意味・用法を理解し、表現できる。	不定詞（原因を表す副詞的用法） 復習 現在完了形（経験用法） 中心技能 4 技能すべて 使用場面 手紙 話題、テーマ フェアトレード 働き 礼を言う、報告する	① 本文（手紙）の内容理解(Q&A) [理解] ② 基本文 [理解・表現] ③ 本文の音読 [表現]	継続 不定詞の形・意味・用法の理解と定着については、2 年次の復習及び p. 52 の「まとめと練習 2」との関連を図りながら行う。 言語 名詞的用法の不定詞が、文の主語になる形についてふれ、理解させる。					

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート				主な言語活動		
6	Unit 3	pp. 22-26			1	Review	○動詞を適切な形にかえて対話を完成することができる。(A) ○自分のコメントを加えてチームへの手紙を完成し、発表することができる。(B)	① 中心技能 読む, 書く, 話す 使用場面 誕生日の祝いの席で質問する, 答える 働き ② 中心技能 読む, 書く, 話す 使用場面 手紙 働き 自己紹介する	① 適語補充 [理解・言語文化] ② ロールプレイ [表現] ③ 適語補充 [理解・表現] ④ コメントを書く [表現] ⑤ 完成した手紙の音読・発表 [表現] ⑥ 特に ②③ への取り組み [意欲]	深化 ⑤の手紙の作成に 1~2 単位時間あて、自分の考えを入れて「書く」ことの指導の充実を図ることもできる。	
	Listening Plus 3	p. 27	ガーナについて知ろう 題材・内容 英語での社会の授業を聞いて、要点を聞き取る。	1		○地図やグラフを見ながら社会の授業を聞いて、要点を聞き取ることができる。	復習 現在完了形, 不定詞 中心技能 聞く, 書く 使用場面 社会の授業で 話題, テーマ ガーナの地理, 気候, 産業 働き 説明する 質問する, 答える	① 地図やグラフを見ながらの聞き取り (Step 1) [理解・表現] ② 対話の聞き取り (Step 2) [理解] ③ 対話を聞いて適切なグラフを選択 (Step 3) [理解] ④ Sound Box による発音練習 [理解・表現] ⑤ 特に ③ への取り組み [意欲]	* Sound Box で扱う「数字」の読み方について、巻末「応用編」p. 118「数の読み方」も活用する。 * ピクチャーカードやプレゼンテーションソフトを活用し、実際に地図やグラフを提示すると効果的である。		
	Speaking Plus 1	pp. 28-29	映画へのさそい 題材・内容 映画に行こうとさそったり、待ち合わせの時間・場所を決めたりする会話を学ぶ。	2		○「…ませんか」と人をさそったり、「…しましょう」と提案したりすることができる。	Would you like to ...? 復習 現在完了形, 不定詞 中心技能 話す, 聞く, 書く 使用場面 友人との対話 話題, テーマ 映画 働き さそう, 提案する 約束する 聞き返す	① 場面の理解とモデル対話の確認 [理解] ② 基本表現 (Step 1) [理解・表現] ③ モデル対話の音読・ロールプレイ (Step 2) [表現] ④ モデル対話の暗唱 (Step 2) [表現] ⑤ モデル対話の応用 (Step 3) [表現] ⑥ 基本表現などの確認 (書き取り) [理解・言語文化] ⑦ 特に ⑤ への取り組み [意欲]	* Step 3 の発表に時間があまりとれない場合は、複数のペアによるグループで、時間があればクラス全体で発表会を行うようにするとよい。 * 基本表現などの書き取りは、音声として練習してきた表現を正確に定着させることがねらいである。生徒の実態に応じて、適語補充や表現の一部を書き取らせるなど、形式を工夫して扱う。必要に応じて単語を書く練習などを行ってもよい。		
	単語練習 1	pp. 30-31	過去分詞 題材・内容 受け身と現在完了形を総復習する。	2		○「…されます」などの受け身の文の動詞の形と語順について復習し、理解を確かめる。 ○現在完了形の文の動詞の形と語順について復習し、理解を確かめる。	復習 受け身, 現在完了形 中心技能 書く	① 「確かめよう」による受け身の確認 [言語文化] ② 「やってみよう」による受け身の確認 [言語文化] ③ 「確かめよう」による現在完了形の確認 [言語文化] ④ 「やってみよう」による現在完了形の練習 [言語文化]	補充 「やってみよう」と類似した問題を作成して取り組ませる。生徒の負担を少なくするため、教科書の本文を参考に問題を作成するとよい。		

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート				主な言語活動		
7	Multi Plus 2	pp. 32-35	修学旅行 題材・内容 修学旅行について取り上げる。4技能すべてを使う総合的自己表現活動。Challengeではさらに世界の遊びに視野を広げる。	4		○モデル文を参考にして、修学旅行記の原稿を5文以上の英語で書くことができる。 ○書いた原稿をもとに、修学旅行記のスピーチをすることができる。 ○友達のスピーチを聞き、その内容について質問することができる。 ○身近な遊びについて、日本と外国を比較し説明した文を読み、内容を理解できる。 ○世界の遊びについて調べて、発表することができる。	復習 Unit 2～3の総復習 中心技能 4技能すべて 使用場面 修学旅行記 話題, テーマ 修学旅行, 多民族国家 働き 紹介する, 発表する 感想を述べる 質問する, 答える	①活動目標の理解(目標) [理解] ②既習事項の復習(復習) [理解] ③モデルの内容理解(Hop) [理解] ④表の完成(Stepの1) [表現] ⑤旅行記を書く(Stepの2) [表現] ⑥旅行記の発表と質疑応答(Jump) [理解・表現] ⑦本文の内容理解(Challenge) [理解] ⑧世界の遊びについて調べて発表する(Challenge) [理解・表現] ●特に⑥⑧への取り組み [意欲]	補充 Stepの原稿作成に1指導時間をあて「書くこと」の指導の重点化を図ることも可能である。 継続 Jumpは、毎時間冒頭に数人ずつ発表させていく、という方法でもよい。 継続 ChallengeのLet's Try 2については、課題として扱い、書くことや話すこと(スピーチ)の活動を継続的にすることも可能である。 *修学旅行の実施時期に合わせて、指導時期を調整するなどの工夫を図る。 *「応用編」p.114 Bonus Word Box②「修学旅行」も活用させる。		
			食事の会話 題材・内容 食事をすすめたり、それに答えたりする会話を学ぶ。							2	○「…はいかがですか」と人にものをすすめたり、「お願いします」と応じたり、「結構です」と断ったりすることができる。
9	Speaking Plus 2	pp. 36-37		4		○物語の背景となる歴史的事実を知り、戦争と平和について考える。 ○物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを読み取ることができる。	復習 既習事項の総復習 中心技能 読む 使用場面 物語 話題, テーマ 平和	①本文(物語)のあらすじの理解 [理解] ②各ページの本文の内容理解 [理解] ③本文の音読 [表現] ④本文の暗唱 [表現] ●特に④への取り組み [意欲]	*物語全体の通読(1時間目)と各ページの精読(2時間目以降), Reviewを活用した2ページごとの通読, 各ページの精読のみの4時間扱いなど, 生徒の実態によって指導計画を柔軟に考えたい。		
			A Mother's Lullaby 題材・内容 大野允子作「かあさんのうた」の翻案。広島市近郊に立つ1本の木による回想の形をとる。原爆投下時、木の下で、母を求めて泣き叫ぶ幼い男の子に、子守歌を歌ってあげた少女の物語。 設定理由 すぐれた平和教材であると同時に、感動的な物語教材でもある。説明的、教訓的にならずに、戦争の引き起こす悲しみを、強く印象づける。							5	○空欄に適切な語句を入れて本文前半をまとめた文を完成することができる。(A) ○本文の後半の内容についての質問を理解し、適切に回答できる。(B) ○自分の考えを木に伝える手紙を書くことができる。(C)
	Let's Read 1	pp. 38-42		1	Review						

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		ページ名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現 ----- 主な言語活動	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート						
9	Unit 4	pp. 44-48	Learn by Losing 題材・内容 日本の国技である相撲について取り上げる。相撲を紹介する観光ガイド(SO)，一郎がベッキーを相撲観戦にさそう対話(D)，外国人力士の日本語にまつわる失敗談(RC)，と展開する。 設定理由 本題材を通じ、日本の文化にさらに目を向け、興味・関心を持たせたい。また、言語習得を例に、「失敗から学ぶこと」や「失敗を恐れぬ姿勢」の大切さを理解させたい。	5	1	Starting Out	○相撲について関心を持つ。 ○「疑問詞＋不定詞」の形・意味・用法を理解し、表現できる。	疑問詞＋不定詞 (how to ...) 中心技能 4 技能すべて 使用場面 日本の観光ガイド 話題, テーマ 相撲 働き 紹介する	① 本文(観光ガイド)の内容理解 [理解] ② 基本文 [理解・表現] ③ 本文の音読 [表現] 本文の暗唱 [表現] ④ Listen [理解] ⑤ Speak [表現]		
					1	Dialog	○It is ... for — to ~の形・意味・用法を理解し、それをを用いて簡単な対話ができる。	It is ... for — to ~ 中心技能 4 技能すべて 使用場面 友人との対話 話題, テーマ 相撲 働き さそう, 礼を言う	① 本文(対話)の内容理解 [理解] ② 基本文 [理解・表現] ③ 本文の音読・ロールプレイ [表現] 本文の暗唱 [表現] ④ Your Turn [表現] ● 特に ④ への取り組み [意欲]	補充 「疑問詞＋不定詞」及び It is ... for — to ~の意味・形に習熟させるために、語順の理解(並べかえ練習)、代入練習、適語補充などに1単位時間をあててもよい。	
					1	Reading for Communication	○外国人力士のエピソードを読んで、内容を理解できる。	復習 It is ... for — to ~ 中心技能 4 技能すべて 使用場面 外国語習得 働き 説明する	① 本文(エピソード)の内容理解(Q&A) [理解] ② 本文の音読 [表現]		
					1	Reading for Communication	○外国人力士のエピソードを読んで、内容を理解できる。 ○want ... to ~の形・意味・用法を理解し、表現できる。	復習 疑問詞＋不定詞 (how to ...) 中心技能 4 技能すべて 使用場面 外国語習得 働き 説明する	① 本文(エピソード)の内容理解(Q&A) [理解] ② 基本文 [理解・表現] ③ 本文の音読 [表現]		
					1	Review	○語句を正しく並べかえて対話を完成することができる。(A) ○2つの場面の対話を読んで、流れに適した語句や応答文を考え、書くことができる。(B)	A 中心技能 読む, 話す 使用場面 友人との対話 話題, テーマ 囲碁 働き 質問する, 答える B 中心技能 読む, 書く, 話す 使用場面 レストランで, ホテルのフロントで 話題, テーマ 食事の注文, タクシーを呼ぶ 働き 命令する, 依頼する, 説明する	A ① 語句の並べかえ [理解・表現] ② ロールプレイ [表現] B ① 適語補充 [理解・表現] ② せりふを考えて書く [表現] ③ ロールプレイ [表現]	深化 Bの英作文は、書く活動の課題として扱い、ロールプレイを数回に分けて授業の初めに発表させ、表現の能力を伸ばす指導の充実を図ることもできる。	

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート				主な言語活動		
9	Listening Plus 4	p.49	英語落語家への道 【題材・内容】 英語落語家へのインタビューを聞き、質問事項や内容の要点を聞き取る。	1			○質問リストの記述を参考に、インタビューの質問事項や内容の要点を聞き取ることができる。	【復習】 疑問詞＋不定詞 (how to...) It is ... for — to ~ 【中心技能】 聞く、書く 【使用場面】 インタビュー 【話題、テーマ】 英語落語家 【働き】 質問する、答える、説明する	①質問リストの完成 (Step 1) [理解・表現] ②インタビューの要点の聞き取り (Step 2) [理解] ③インタビューの聞き取りとメモ作成 (Step 3) [理解・表現] ④Sound Boxによるディクテーション [理解・表現] ●特に③への取り組み	【補充】 Listening Plus 4 の題材に関連し、桂かい枝演ずる英語落語を扱った Ambassador of Laughter (「応用編」 pp.128-129) を活用し、「読む」ことの指導の重点化を図ることも可能である。	
			道案内 【題材・内容】 乗り物での行き方をたずねたり、教えたりするときの会話を学ぶ。「道案内」の第3弾。	2		○「…への行き方を教えていただけますか」とたずねたり、それに応答したりすることができる。	SV0'O" (O" =how to...) 【復習】 how to... 【中心技能】 話す、聞く、書く 【使用場面】 道案内 【話題、テーマ】 乗り物での行き方(乗り換えあり) 【働き】 質問する、答える、説明する、礼を言う	①場面の理解とモデル対話の確認 [理解] ②基本表現 (Step 1) [理解・表現] ③モデル対話の音読・ロールプレイ (Step 2) [表現] ④モデル対話の暗唱 (Step 2) [表現] ⑤モデル対話の応用 (Step 3) [表現] ⑥基本表現などの確認(書き取り) [理解・言語文化] ●特に⑥への取り組み [意欲]			
			不定詞 【題材・内容】 不定詞「to＋動詞の原形」を総復習する。	1		○不定詞「to＋動詞の原形」の意味と使い方について復習し、理解を確かめる。	【復習】 不定詞 【中心技能】 書く	①「確かめよう」による確認 [言語文化] ②「やってみよう」による練習 [言語文化]	【補充】 「やってみよう」と類似した問題を作成して取り組ませる。生徒の負担を少なくするため、教科書の本文を参考に問題を作成するとよい。		
10	まよめと練習 2	p.52	文章のまとめ方 【題材・内容】 日本文化の紹介を例として、論理的でまとまりのある文章の作り方のコツについて扱う。	1		○自分の考えを整理し、文章の構成を考えながら論理的な文章を書く手順を理解できる。 ○教科書の例を参考に、論理的でまとまりのある文章を書くことができる。	【中心技能】 書く、読む	①文章のまとめ方の理解 [言語文化] ②手順を参考にした作文 [表現]	【補充】 条件作文または自由作文の活動に1単位時間をさらにあて、指導の重点化を図る。 【継続】 Writing Plus や Multi Plus とも連携を図り、継続的・段階的な指導が必要である。 *生徒の実態に合わせ、適語補充・条件作文・部分作文・自由作文などの多様な課題を準備することが効果的である。		
			学び方コーナー 1	p.53							

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		ページ名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現 ----- 主な言語活動	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート						
10	Unit 5	pp. 54-58	Electronic Dictionaries - For or Against 題材・内容 電子辞書について取り上げる。辞書を使った単語当てクイズ (S0) , 電子辞書を使っている一郎とブラウン先生の対話 (D) から, 電子辞書使用の是非についてのインターネット上の議論 (RC) へと展開する。 設定理由 生徒にとって身近な話題であるだけでなく, 議論のテーマとしてもたいへん今日的なものである。自分なりの意見や考えを持ち, それを表現しようとする態度や, 的確に表現できる能力を育てたい。	5	1	Starting Out	○現在分詞および過去分詞による後置修飾の形・意味・用法を理解し, 表現できる。	現在・過去分詞の後置修飾 中心技能 4 技能すべて 使用場面 英語の授業で 話題, テーマ 英英辞書で単語 当てクイズ 働き 質問する, 答える 説明する	①本文 (単語当てクイズ) の内容理解 [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読 [表現] 本文の暗唱 [表現] ④Listen [理解] ⑤Speak [表現]	補充 現在分詞・過去分詞の後置修飾及び間接疑問文の形・意味に習熟させるために, 適語補充, 語句の並べかえ練習などに 1 単位時間をあててもよい。特に語順に焦点をあてた反復練習は多く取り入れたい。	
					1	Dialog	○間接疑問文の形・意味・用法を理解し, それを用いて簡単な対話ができる。	間接疑問文 中心技能 4 技能すべて 使用場面 教室で 話題, テーマ 電子辞書 働き 説明する, 質問する, 答える, 意見を言う	①本文 (対話) の内容理解 [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読・ロールプレイ [表現] 本文の暗唱 [表現] ④Your Turn [表現] ●特に④への取り組み [意欲]	言語 前時の過去分詞の後置修飾と関連させて, printed dictionary の printed が過去分詞であり, 単独のため名詞の前に置かれていることにふれてもよい。	
					1	Reading for Communication	○電子辞書と紙の辞書を巡る各々の意見の内容や論点を, 正確に読み取ることができる。	復習 間接疑問文 中心技能 4 技能すべて 使用場面 インターネット での議論 話題, テーマ 電子辞書使用の是非 働き 賛成する, 反対する 意見を言う	①本文 (議論) の内容理解 (Q&A) [理解] ②本文の音読 [表現]	言語 be easy to は少し難しいので, 用法などには深入りせず, 表現として扱うにとどめたい。	
					1	Reading for Communication	○電子辞書と紙の辞書を巡る各々の意見の内容や論点を, 正確に読み取ることができる。	中心技能 4 技能すべて 使用場面 インターネット での議論 話題, テーマ 電子辞書使用の是非 働き 賛成する・反対する 意見を言う	①本文 (議論) の内容理解 (Q&A) [理解] ②本文の音読 [表現] ●特に②への取り組み [意欲]		
					1	Review	○動詞を適切な形に変えたり, 語を並べかえたりして, 文を完成することができる。(A) ○本文 (インターネット掲示板に書きこまれた Hope の意見) を読んで, 自分の意見をまとめ, 書くことができる。(B)	① 中心技能 読む, 書く 使用場面 好きなバンドの紹介 話題, テーマ バンド 働き 紹介する, 説明する ② 中心技能 読む, 書く, 話す 使用場面 インターネット での議論 話題, テーマ 電子辞書使用の是非 働き 賛成する・反対する 意見を言う	①適語補充 [理解・表現] ②本文の音読 [表現] ③ ①意見を書く [理解・表現] ②意見の発表 [表現]	深化 ③の意見の作成に 1 単位時間あて, Tool Box を参考にしながら, 自分の考えを分かりやすく「書く」ことについて, 指導の充実を図ることもできる。	

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート				主な言語活動		
10	Listening Plus 5	p. 59	優先席にすわってもよい? 【題材・内容】 優先席に関する議論を聞き、賛成・反対とその理由を聞き取る。	1			○議論の内容について、各々が賛成か反対か、その理由は何かを聞き取ることができる。	【復習】 現在分詞の後置修飾 中心技能 聞く、書く 使用場面 英語の授業での議論 話題、テーマ 若者が優先席にすわることの是非 働き 賛成する・反対する意見を言う、説明する	①賛成・反対とその理由の聞き取り (Step 1) [理解] ②議論の続きの聞き取り (Step 2) [理解] ③他の意見の聞き取り (Step 3) [理解・表現] ④Sound Box による聞き取り [理解] ●特に③への取り組み [意欲]		
	Speaking Plus 4	pp. 60-61	電話での応答 【題材・内容】 「電話での応答」の第3弾（第1弾はBook 1 SP 1, 第2弾はBook 2 SP 2）。話したい相手が留守だった場合の会話を扱い、特に「申し出る、伝言をたのむ」表現を学ぶ。	2			○電話での応答で、「あとでかけさせましょうか」などと申し出たり、伝言をたのんだりすることができる。	want [tell] ... to call ~ 中心技能 話す、聞く、書く 使用場面 電話 働き 申し出る、依頼する、引き受ける、繰り返す	①場面の理解とモデル対話の確認 [理解] ②基本表現 (Step 1) [理解・表現] ③モデル対話の音読・ロールプレイ (Step 2) [表現] ④モデル対話の暗唱 (Step 2) [表現] ⑤モデル対話の応用 (Step 3) [表現] ⑥基本表現などの確認 (書き取り) [理解・言語文化] ●特に⑤への取り組み [意欲]		
11	Unit 6	pp. 62-66	Break the Barrier 【題材・内容】 人種の障壁を破ったアフリカ系アメリカ人大リーガーであるジャッキー・ロビンソンを取り上げる。英語の授業で出された課題 (S0), さくらとブラウン先生の対話 (D), さくらが調べたロビンソンの業績や生涯 (RC), と展開する。 【設定理由】 大リーグの歴史を塗り替え、アメリカの人種問題に一石を投じたロビンソンは、人権や平和などを考えるうえで取り上げる価値のある人物である。また、生徒が主体的に調べ、レポートをまとめるという作業は、3年間の最後のUnitにふさわしい。	1	Starting Out		○偉大な業績を残した人たちに興味・関心を持つ。 ○接触節の形・意味・用法を理解し、表現できる。	接触節 中心技能 4技能すべて 使用場面 授業で偉人 話題、テーマ 説明する、指示する 働き	①本文 (先生の指示) の内容理解 [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読 本文の暗唱 [表現] ④Listen [理解] ⑤Speak [表現]	【補充】 接触節及び関係代名詞の形・意味に習熟させるために、適語補充、語句の並べかえ練習などに1単位時間をあててもよい。特に語順に焦点をあてた反復練習は多く取り入れたい。	
				1	Dialog		○ロビンソンがどういう人物か、おおまかに知る。 ○関係代名詞 who を用いた文の形・意味・用法を理解し、それをを用いて簡単な対話ができる。	関係代名詞 who 中心技能 4技能すべて 使用場面 先生への質問 話題、テーマ ジャッキー・ロビンソン 働き 質問する、答える、説明する	①本文 (対話) の内容理解 [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読・ロールプレイ 本文の暗唱 [表現] ④Your Turn [表現] ●特に④への取り組み [意欲]		
				1	Reading for Communication		○ロビンソンの業績について知る。 ○人物事典を読んで、その内容を理解できる。 ○関係代名詞 that [which] (主格) を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できる。	関係代名詞 that [which] (主格) 【復習】 関係代名詞 who 中心技能 4技能すべて 使用場面 人物事典 話題、テーマ ジャッキー・ロビンソン 働き 説明する、レポートする	①本文 (人物事典) の内容理解 (Q&A) [理解] ロビンソンの業績の理解 [言語文化] ②基本文 [理解] ③本文の音読 [表現]		

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容 文法事項・基本表現 ----- 主な言語活動	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート					
11	Unit 6	pp. 62-66		1			<p>○ロビンソンの生涯について詳しく知る。 ○伝記の情報を読んで、内容を理解できる。 ○関係代名詞 that [which] (目的格) を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できる。</p>	<p>関係代名詞 that [which] (目的格)</p> <p>中心技能 4 技能すべて</p> <p>使用場面 要点メモ 話題, テーマ ジャッキー・ロビンソン</p> <p>働き 説明する, レポートする</p>	<p>①本文 (伝記のメモ) の内容理解 (Q&A) [理解] ロビンソンの生涯についての理解 [言語文化]</p> <p>②基本文 [理解]</p> <p>③本文の音読 [表現]</p>	
				1	Review	<p>○接触節や関係代名詞を用いた文を正しく作ることができる。(A) ○空欄に適切な語句を補充して、ジャッキー・ロビンソンの生涯についてのレポートを完成することができる。また、彼の生き方などについて、自分の考えやコメントを書くことができる。(B)</p>	<p>① 読む, 書く, 話す 働き 紹介する, 説明する</p> <p>② 読む, 書く, 話す</p> <p>使用場面 レポート 話題, テーマ ジャッキー・ロビンソン</p> <p>働き レポートする, 感想を述べる, 発表する</p>	<p>① 語句の並べかえ [理解・表現]</p> <p>② 解答の音読 [表現]</p> <p>③ 適語補充 [理解・表現]</p> <p>④ コメントを書く [表現]</p> <p>⑤ レポートの発表 [表現]</p> <p>●特に②③への取り組み [意欲]</p>	<p>深化 ⑤の意見の作成及び発表に1単位時間あて、「書く」「話す」ことについて、指導の充実を図ることもできる。</p>	
	Listening Plus 6	p. 67	<p>20世紀のスター 題材・内容 ジョン・レノンについてのレポートの発表を聞き、彼についての表や年表を完成する。また、他のレポートの一部を聞いて該当する人物を特定する。</p>	<p>1</p>		<p>○ジョン・レノンの生涯について知る。 ○レポートの発表を聞いて、具体的な内容や大切な部分を聞き取ることができる。 ○他のグループのレポートの一部を聞いて、該当する人物を選択できる。</p>	<p>復習 関係代名詞</p> <p>中心技能 聞く, 書く</p> <p>使用場面 レポートの発表 話題, テーマ ジョン・レノン, オードリー・ヘップバーン, エルビス・プレスリー, ペレ</p> <p>働き 発表する</p>	<p>① レポート前半の聞き取り (Step 1) [理解]</p> <p>② レポート後半の聞き取り (Step 2) [理解]</p> <p>③ 別の人物についてのレポートの聞き取り (Step 3) [理解]</p> <p>④ Sound Box による発音練習 [理解・表現]</p> <p>●特に③への取り組み [意欲]</p>		
Writing Plus 2	pp. 68-69	<p>レポート 題材・内容 「書く」ことの総まとめ (最終到達目標) になる活動の1つである。内容は Unit 5 に関連、自分の意見や考えをまとまりのある論理的な文章で表現する。学び方コーナー1も参考にし、じっくりと取り組ませたい。</p>	<p>2</p>		<p>○決められたテーマについて、賛成・反対などの自分の立場を明らかにし、理由を述べながらまとまりのあるレポートを、5文以上の英語で書くことができる。</p>	<p>中心技能 書く, 読む</p> <p>使用場面 レポート 話題, テーマ レジ袋禁止の是非</p> <p>働き 意見を言う 賛成する, 反対する 理由を述べる, 説明する</p>	<p>① モデルの内容理解 (Step 1) [理解]</p> <p>② 賛成・反対の理由を整理する (Step 2) [理解]</p> <p>③ レポートを書く (Step 3) [表現]</p> <p>●特に③への取り組み [意欲]</p>	<p>*Step 1~2, 可能なら Step 3 の書き出しまでを1時間目で扱い、書いた内容の確認や推敲などを2時間目に扱うようにするとよい。</p>		

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート				主な言語活動		
11	まとめと練習3	p. 70	後置修飾 【題材・内容】 関係代名詞を含めた後置修飾を総復習する。	1			○後ろから名詞を修飾する形について復習し、理解を確かめる。	【復習】 後置修飾 【中心技能】 書く	①「確かめよう」による確認 [言語文化] ②「やってみよう」による練習 [言語文化]	【補充】 「やってみよう」と類似した問題を作成して取り組ませる。生徒の負担を少なくするため、教科書の本文を参考に問題を作成するとよい。	
	学び方コーナー2	p. 71	5つの文構造 【題材・内容】 文構造について、「主語[部]」と「述語[部]」という概念と、「述語[部]」の動詞の機能による5タイプの分類について扱い、文を理解するうえでの一助とする。	1			○文は「主語[部]」と「述語[部]」から成り立っていることを理解できる。 ○「述語[部]」の動詞の機能により、文が5つのタイプに分類されることを理解できる。 ○教科書の例を参考に、様々な文について、「主語[部]」「動詞」「目的語」「補語」を識別できる。	【中心技能】 読む	①「主部」と「述部」についての理解 [言語文化] ②5タイプの文構造についての理解 [言語文化] ③練習問題による確認 [言語文化]	【補充】 指導の典型的手順③の活動に1～2単位時間をさらにあて、教科書の様々な文などを活用し、指導の重点化を図る。 【補充】 ワークシートや入試問題を活用し、本課での既習事項をもとに、まとまった文章の内容理解の練習も可能である。	
12	Writing Plus 3	pp. 72-73	スキット 【題材・内容】 対話の内容や流れを理解し、語と語、文と文のつながりに注意しながら対話文を書く活動である。	2			○対話の内容や流れを理解し、語と語、文と文のつながりに注意しながら適切な文を書き、対話文を完成することができる。	【中心技能】 書く、読む 【使用場面】 勉強部屋で説明する、質問する、答える、釈明する 【働き】	①モデルの内容理解 (Step 1) [理解] ②適切なせりふを選んで対話を完成 (Step 2) [理解] ③Step 2に続くせりふを考えて書く (Step 3) [表現] ●特に③への取り組み [意欲]	【継続】 Step 2, Step 3 で書いたスキットは、毎時間冒頭に数ペアずつ発表させてもよい。	
	Multi Plus 3	pp. 74-77	なりた職業 【題材・内容】 自分の将来の夢やなりた職業について扱う。Challenge では、世界で活躍する日本人和太鼓奏者を紹介する。	4			○モデル文を参考にして、将来なりた職業についての原稿を、5文以上のまとまりのある英語で書くことができる。 ○書いた原稿をもとに、将来なりた職業について、スピーチをすることができる。 ○友達のスピーチを聞き、その内容について質問することができる。 ○「将来の夢」についての文を読んで、その内容を理解できる。 ○日本や外国の伝統芸能や伝統文化と、その分野で活躍する人について調べて、発表することができる。	【復習】 Unit 4～6の総復習 【中心技能】 4技能すべて 【使用場面】 スピーチ、将来の夢、伝統芸能 【働き】 説明する、発表する、質問する、答える	①活動目標の理解 (目標) [理解] ②既習事項の復習 (復習) [理解] ③モデルの内容理解 (Hop) [理解] ④話題を選ぶ (Step の 1) [表現] ⑤なりた職業について書く (Step の 2) [表現] ⑥発表と質疑応答 (Jump) [理解・表現] ⑦本文の内容理解 (Challenge) [理解] ⑧伝統芸能・伝統文化について調べて発表する (Challenge) [理解・表現] ●特に⑥⑧への取り組み [意欲]	*Tool Box 及び「応用編」p.115 Bonus Word Box③「職業」も活用させる。 【補充】 Step の原稿作成に1指導時間をあて、全体を5指導時間とし、「書くこと」の指導の重点化を図ることも可能である。 【継続】 Jump は、毎時間冒頭に数人ずつ発表させていく、という方法でもよい。 【補充】 Challenge の題材に関連し、「音楽」をテーマにした My Friends, My Heroes (「応用編」p.131) を活用し、「読む」ことの指導の重点化を図ることも可能である。 【継続】 Challenge の Let's Try 2 については、課題として扱い、書くことや話すこと (スピーチ) の活動を継続的に行うことも可能である。	

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート				主な言語活動		
1	Let's Read 2	pp. 78-82	Roy Brown - Boy Detective 題材・内容 警察署長を父に持つ、少年探偵ロイ・ブラウンのショートストーリーを扱う。ロイには、宝石泥棒を逮捕するための名案が浮かぶ。さてその方法とは…？ 設定理由 単純明快で分かりやすい人物設定とストーリー展開である。既習事項を活用し、内容把握に焦点化した「速読」や「長文読解」の練習にも最適な題材である。	5	4		○物語を読んで、登場人物とその行動、場面の変化や事件の経過、及びその真相などを読み取ることができる。	復習 既習事項の総復習		①本文（物語）のあらすじの理解 [理解] ②各ページの本文の内容理解 [理解] ③本文の音読・ロールプレイ [表現] ④本文の暗唱 [表現] ●特に④への取り組み [意欲]	*物語全体の通読（1時間目）と各ページの精読（2時間目以降）、Review を活用した2ページごとの通読、各ページの精読のみの4時間扱いなど、生徒の実態によって指導計画を柔軟に考えたい。
								中心技能 読む 使用場面 物語 話題、テーマ 少年探偵	①本文前半の内容確認 [理解] ②本文後半の内容確認 [理解] ③犯人と断定する理由を書く [表現] ●特に③への取り組み [意欲]		
2	Let's Read 3	pp. 84-90	An Artist in the Arctic 題材・内容 アラスカの大自然とそこに生きる動物、生活する人々を追ったカメラマン、星野道夫を取り上げる。 設定理由 美しい彼の写真とともに、自然の偉大さ、美しさ、厳しさを感じ取りたい。しかし、その自然とそこに住む動物、極寒の地に生き自然と共存する人々の生活にも、今、環境破壊や近代化による危機が迫っている。地球環境保護の視点からも最適な題材である。	7	6		○星野道夫の写真とその生き方を通して、自然の偉大さとともに、そこで生きる人々や動物の生活について考える。 ○本文を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを読み取ることができる。	復習 既習事項の総復習		①本文のあらすじの理解 [理解] ②各ページの本文の内容理解 [理解] ③本文の音読 [表現] ④本文の暗唱 [表現] ●特に④への取り組み [意欲]	*物語全体の通読（1時間目）と各ページの精読（2時間目以降）、Review を活用した2ページごとの通読、各ページの精読のみの6時間扱いなど、生徒の実態によって指導計画を柔軟に考えたい。 *音読の練習では、写真を使つてのピックアップカードによる「紙芝居風」や、コンピューターとソフトを活用したプレゼンテーション活動としての実践も効果的である。
								中心技能 読む 使用場面 伝記 話題、テーマ 星野道夫、アラスカ	①本文の内容確認 [理解] ②本文の内容確認 [理解] ③写真を選び感想を書く [表現] ●特に③への取り組み [意欲]		
				計 87							